

大豊町みらい創造総合計画全体像[R7年度~11年度]

◆第9次総合計画

目指すべき将来像

基本構想

豊かで元気な暮らし広がる町



未来へつなげる魅力あふれる町

3つの基本方針

暮らし働ける環境づくり

安心して元気に暮らせる地域づくり

未来へつなげる土台づくり

まちづくりの機能（5つの柱）

基本計画

柱1 暮らそうおおとよ

柱5 つなごうおおとよ

柱2 活力おおとよ

柱4 おいでよおおとよ

柱3 健やかおおとよ

◆第3期総合戦略

※「まちづくりの機能(5つの柱)」で実施される事業のうち、少子高齢化・人口減少対策に資するものを総合戦略で位置づけ

戦略全体を貫く目標「人口の自然減の鈍化及び社会増減の均衡」

【基本目標1】

地域資源を活用し安定した雇用を創出する

【基本目標2】

新しい人の流れをつくり定住につなげる

【基本目標3】

安心して子育てができる環境を充実する

【基本目標4】

いつまでも暮らせる元気な集落を再生し地域の暮らしを守る

健全な財政に支えられた行財政運営のもと、3つの「基本方針」を掲げ、まちづくりの機能（5つの柱）により、まちづくりを展開していきます！



今回は取り組んでいる事業の一部を紹介します！

※町マスコットキャラクター「やまがらノ助」



【柱1】暮らそうおとよ

集落コミュニティを中心とした地域、みんな安全、安心、快適に暮らせる地域づくりを進め、様々なニーズに対応した住環境の整備、社会資本の整備、防災対策など、山村で暮らせる環境、定住促進を目指します

集落コミュニティ

・元気集落活動拠点(集落活動センター)の整備
集落活動センター西峯と丸和林業(株)の連携など、各地域の集落活動センターと企業・大学等の連携に取り組み、集落活動センターの充実を図ります

・みんなで支える郷づくり事業

集落の環境整備における支援策として、「支障木の伐採」「道づくり」等の集落活動の支援充実に取り組みます

・飲料水の確保

デジタルの力を活用して、検針作業の省力化や漏水の早期発見、水量の監視等の維持管理の効率化に取り組みます

・住宅の確保

「住める」から「住みたい」と思える住宅整備として、町営住宅津家団地【仮称】を令和10年5月完成予定で取り組みます

防災

・地域防災力の強化

地域タイムライン協議会や自主防災組織、消防団、事業者等との連携を強化し、ハード・ソフト両面から地域防災の強化に取り組みます

情報化

・情報格差対策の推進

老朽化したテレビ共聴施設に対し、国庫補助事業を活用して光化を伴う改修事業の支援に取り組みます

【柱2】活力おおとよ

豊富な森林資源を活用した林業の成長化、産業・環境・地域政策としての農業の持続化、山村の環境を活かした産業の創出、担い手・人材の確保など、山村で暮らし働ける環境を目指します

農業

・農地を守り地域を守る

地域農業を将来へ継続し、農地を引き継いでいくため、地域計画(ちいき計画)を実行するとともに、集落環境、山村農業を維持するための「小さな農業」を推進し、地域おこし協力隊等の活用による担い手の確保に取り組みます

・振興作物の産地化、高付加価値化の推進

農機具等の導入や改良苗の購入への支援を充実させ、振興作物(トマト・ユズ)を生産する農家の労働力の軽減及び認定農業者の支援等に取り組みます

・鳥獣被害対策の推進

奨励制度や電気柵設置への支援の継続、ICT技術の導入による捕獲精度の向上や効率化による鳥獣被害対策に取り組みます

林業

・林業担い手育成対策、小規模林業(自伐型林業を含む)の推進

林業の成長化に加え、国や県の補助基準に達しない小規模な施業や再造林の推進、支障木伐採等による「小さな林業」を推進し、担い手の確保に取り組みます

・森林環境譲与税を活用した森林整備の推進

意向調査の実施や林政アドバイザーの活用により、各種施策(不採算森林の改善など)に取り組みます

商工業

・商工業の振興

町商工会の商品券(生活応援商品券含む)の活用による町内消費の促進や商工業者と宅配業者が連携した配送事業を推進します

【柱3】健やかおおとよ

住民のニーズに応じた包括的な支援を推進し、健康づくりや集いの場の充実、医療・福祉の充実など、子どもから高齢者まで元気に健やかに暮らせる地域を目指します

高齢者

・集いの場の充実

あったかふれあいセンター事業や自主活動の集いの場等の高齢者が集える場の充実に取り組みます

・フレイル予防活動の推進

介護予防や重症化を防止し、心身共に元気な高齢者を増やすため、フレイル予防に取り組みます

・高齢者への訪問と相談対応の充実

可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者への訪問と相談支援体制の充実に取り組みます

福祉

・相談支援の充実

令和8年度より設置された「障害者基幹相談支援センター」において、障害者(児)の総合窓口として支援の強化に取り組みます

【柱4】おいでよおおとよ

「おおとよ」の魅力を発信するとともに、観光・交流機会の創出により、交流人口の拡大、関係人口の創出、集落コミュニティを軸とした移住促進を目指します

観光・交流

・交流拠点の充実

拠点観光施設(山荘裾ヶ森、ゆとりすとパークおおとよ、道の駅大杉)の施設の魅力化及び磨き上げを行い、誘客促進に取り組みます

・交流からの定住対策

子育て世帯や移住者(Uターン含む)、社宅等を設置する事業者に対する空き家改修、新築木造住宅への支援や、お試し住宅や中間管理住宅を活用した町内二段階移住の推進に取り組みます

移住・定住

・移住プロモーション事業

動画作成・広告等により地域の魅力を発信、広報活動を強化し、移住・定住の促進に取り組みます

【柱5】つなごうおおとよ

未来へはばたく子どもたちが、やさしく、かしく、たくましく成長を遂げ、「おおとよ」から果敢に挑戦することを後押しするとともに、住民の学びや活動を支援し、地域文化や伝統文化の継承など、大豊ならではの未来への土台づくりを目指します

子育て

・妊娠・出産・育児に対する支援体制の充実

令和8年度より設置された「こども家庭センター」において、母子保健・児童福祉の総合窓口として支援の強化に取り組みます

・豊かな学びを支援

サンショウやダイダイなどの生業の理解を深めるための内容等、企業等と連携して地域に根差した学習プログラムの提供に取り組みます

学校教育

・就学・修学支援の充実

給食費無償化や高校通学支援等の多方面において支援し、子育て家庭の経済的負担の軽減に取り組みます

地域文化

・伝統文化活動の推進

地域の文化資源等の特色を生かした各種イベントを対象事業として、今年10月から開催の「よさこい高知文化祭2026」に参画します

・地域文化の発展

基石茶製造技術の国の重要無形民俗文化財指定を記念し、基石茶製造技術保存会を中心としたシンポジウムを5月31日に開催します